

2016 年度

韓国派遣留学報告書

実習先：慶熙大学

実習期間：9月4日（土）～12月24日（土）

新潟国際情報大学
国際文化学科
学籍番号：21015114
本多 由佳子

目次

1	研修先及び実習期間	3
2	研修先概要	3
3	研修目的	3
4	研修内容	4
	4 - 1 研修のスケジュール	4
	4 - 2 研修の詳細	5
5	所感	6
6	おわりに	7
	謝辞	7

付録

	研修日誌	8
--	------	---

1 研修先及び実習期間

研修先：慶熙大学 国際教育院

研修期間：平成 28 年 9 月 5 日（月）～平成 28 年 12 月 16 日（金）

※出国は 9 月 3 日(土)、帰国は 12 月 24 日(土)

2 研修先概要

(1)大学について

慶熙大学は、韓国の首都ソウルに位置する。ソウルは人口が 1000 万人以上の大都市である。慶熙大学は 1949 年に創立された私立大学であり、およそ 2 万 5000 人の学生が学んでいる、非常に大きな大学である。3 つのキャンパスがあり、文系から理系まで 24 の学部を構え、あらゆる分野の研究を行うことができる。芸術系の学部もあり、韓国の俳優や歌手など多数の著名人が卒業している。韓国の中ではかなり有名な大学に成長した。

(2)大学で行われている教育について

慶熙大学は、質の高い教育を行っていることと、多くの留学生を受け入れていることに特徴がある。1 クラスの人数は大きくなりすぎないように配慮がなされており、充実した環境の中で学習を行うことができる。今回お世話になる国際教育院では、外国人や海外在住韓国人を対象に韓国語の教育を行うものである。初級者から上級者まで 6 段階にレベル分けされており、韓国語を知らない学生もあいさつなどの基礎からしっかり学習することができる。

大学には、他にもトウミ制度というものがあり、慶熙大学の学生がチューターとしてつき韓国語学習以外に個人的な交流を通して韓国の文化を知ったり、一緒に会話をしたりすることによって留学生の韓国での生活を助けてくれる制度である。

3 研修目的

今回の留学の目的は、韓国語能力を確実に上げることである。韓国語は中学校や高校では学んだことがなく大学に入ってから学び始めた言語である。1 年ほど学んだことを実際に使うことができるのか、そして今の自分の実力を知ることが大きな目的の 1 つである。実際、挨拶や数字、簡単な文しか話せない、文法も十分ではないし知っている単語量も少ないため自分の実力を知り韓国で生活することによってどれだけ韓国語を吸収することができるのかを楽しみにしている。

そして今回留学先である慶熙大学国際教育院には韓国語を母語としない人が多い。そのため一緒に授業を受けたり話したりする中で文化の違いを感じることもあるだろう。その

中で日本以外の文化を知る機会にしたい。生活面においても同じことが言えるだろう。日本と韓国では文化や慣習等が違うため、生活をして実際にその文化や習慣に触れることによってそれを十分に理解し、日本と何が違うのかを比較する。そして世界中の人々が共存していくためにはどのようなことが必要かを考える。

4 研修内容

以下から研修の内容を記述する。

研修期間中に行った活動の詳細は付録に記載する。

4 - 1 研修のスケジュール

研修期間中のスケジュールは以下のとおりである。

・夏短期コース

月	日 (曜日)	午前	午後
9	3 (土)	到着	入寮
	5 (月)	オリエンテーション・入校式	クラス分けテスト
	6 (火)	韓国語	特講
	7 (水)	韓国語	韓国の映画
	8 (木)	現地学習	
	9 (金)	韓国語	
	10 (土)	韓国語	
	12 (月)	韓国語	韓国の映画
	13 (火)	韓国語	特講
	14 (水)	現地学習	
	15 (木)	秋夕(チュソク)休み	
	16 (金)	韓国語	
	19 (月)	韓国語	韓国の映画
	20 (火)	韓国語	特講
	21 (水)	韓国語	韓国の歌
	22 (木)	韓国語	セミナー
	23 (金)	クラスの集まり・修了式	

・秋学期

月	日 (曜日)	午前	午後
9	26 (月)	韓国語	特講
	27 (火)	韓国語	韓国の歌
	28 (水)	オリエンテーション・入校式	韓国の映画
	29 (木)	韓国語	セミナー
	30 (金)	韓国語	
10	3 (月)	建国記念の日	
	4 (火)	韓国語	特講
	5 (水)	韓国語	韓国の映画
	6 (木)	韓国語	セミナー
	7 (金)	韓国語	
	10 (月)	韓国語	韓国の映画
	11 (火)	韓国語	特講
	12 (水)	韓国語	特講
	13 (木)	韓国語	セミナー
	14 (金)	韓国語	
	17 (月)	韓国語	韓国の映画
	18 (火)	韓国語	特講
	19 (水)	韓国語	韓国の歌
	20 (木)	韓国語	セミナー
	21 (金)	韓国語	
	24 (月)	韓国語	韓国の歌
	25 (火)	韓国語	韓国の映画
	26 (水)	韓国語	特講
	27 (木)	韓国語	セミナー
	28 (金)	韓国語	
	31 (月)	テスト	
11	1 (火)	テスト	特講
	2 (水)	韓国語	韓国の歌
	3 (木)	韓国語	セミナー
	4 (金)	韓国語	
	6 (日)	現地学習	
	7 (月)		
	8 (火)	特別授業 (映画鑑賞)	韓国の映画

	9 (水)	韓国語	セミナー
	10 (木)	韓国語	特講
	11 (金)	韓国語	
	14 (月)	韓国語	韓国の歌
	15 (火)	韓国語	韓国の映画
	16 (水)	韓国語	韓国の歌
	17 (木)	韓国語	セミナー
	18 (金)	韓国語	
	21 (月)	韓国語	韓国の映画
	22 (火)	韓国語	特講
	23 (水)	韓国語	韓国の歌
	24 (木)	韓国語	セミナー
	25 (金)	韓国語	
	28 (月)	韓国語	韓国の映画
	29 (火)	韓国語	特講
	30 (水)	韓国語	韓国の歌
12	1 (木)	テスト	セミナー
	2 (金)	テスト	
	5 (月)	テスト返し	韓国の映画
	6 (火)	クラスの集まり	セミナー
	7 (水)	修了式	韓国の歌
	8 (木)	韓国語能力試験(TOPIK)特別授業	セミナー
	9 (金)	韓国語能力試験(TOPIK)特別授業	
	12 (月)	韓国語能力試験(TOPIK)特別授業	韓国の映画
	13 (火)	韓国語能力試験(TOPIK)特別授業	特講
	14 (水)	韓国語能力試験(TOPIK)特別授業	韓国の歌
	15 (木)	韓国語能力試験(TOPIK)特別授業	セミナー
	16 (金)	韓国語能力試験(TOPIK)特別授業	修了式
	19 (月)	自由研修	
	20 (火)		
	21 (水)		
	22 (木)		
	23 (金)		
	24 (土)	帰国	

4 - 2 研修の詳細

スケジュールに記載してある各項目の内容は以下のとおりである。

i) 入校式

慶熙大学内にあるホールで行った。国際教育院で一緒に韓国語を学ぶ留学生が集まり、先生の紹介などがある。留学生がどこの国からきているのかという紹介もされる。

ii) 韓国語

韓国語について学ぶ授業であった。月曜日から金曜日まで毎日あり、1.2時間目に文法を学び話す、聞く、書く、読みの授業が毎日ローテーションで組み立てられている。クラスメートとペアを組み授業の中で練習したり、CDを聞いて書き取ったりしてそれによって韓国語を話す力、聴く力をトレーニングすることが主な内容であった。その他に、日記や例文づくりといった課題が出された。

iii) 韓国の映画

字幕なしの韓国語の映画を見てその映画についての感想や意見をグループで話し合ったり、映画の流れを韓国語で書いたりする授業であった。映画を見て文化を知ったり、リスニング能力を高めるための授業であった。

iv) 韓国の歌

韓国の歌をクラスみんなで歌う授業であった。最初は先生が持ってきた歌を歌った後にクラスの1人1人が1曲ずつ歌の紹介をし、その歌を全員で歌った。韓国で老若男女問わずうたわれている曲や、最近のはやっている曲など様々なジャンルの歌にふれることができた。

v) 特講

韓国の文化にふれるための授業であった。ミュージカルを見たりその時はやっていたK-POPのダンスを習ったり韓国の特徴を学ぶ授業を受けた。韓国の伝統や遊び、そして現代の大衆文化まで学ぶことで、韓国の歴史の移り変わりを知ることができた。

vi) セミナー

韓国と日本の文化やマナーなどの違いや似ている点を調べてグループ発表や1人での発表を行った。発表の際には韓国語で発表し、パワーポイントも作成した。

vii) 現地学習

バスに乗って韓国の観光をした。夏の短期コースではソウル市内の観光地にいった。秋学期には1泊2日でソウル市外へ行き韓国の自然に触れたり、夜にはレクリエーションを行

ったりと様々な国から来た留学生らと仲良くなる機会があった。

viii) 韓国語能力試験(TOPIK)特別授業

韓国語能力試験の対策授業だった。リーディングとリスニングの問題を解き自己採点し、その中で難しい問題や間違いが多かった問題を先生が解説してくれた。実際の問題を受けることによって自分の韓国語のレベルを知ることができた。

ix) 修了式

プログラムや学期が終わると行われる式である。成績優秀者や国際教育院の課程を修了した人が表彰される。

x) 自由研修

1 週間の間自由に韓国をまわり、ショッピングや観光地を楽しむことができた。そしてこの期間はソウル市外に出ることができたため釜山など遠出することができる。

5 当初目的・目標への達成度

今回の研修の目的の達成度について、それぞれまとめる。

i) 韓国語能力を確実に上げること

まず最初に夏の短期プログラムを受けたのだが、その時のクラスは初級 1 のクラスだったので 1 年間学んだことの復習のような感じだった。そのため韓国語での授業になれるための期間であった。この期間があったため少しずつ韓国語で聞くこと、話すことに慣れこの後の秋学期に望むことができた。秋学期には新しい文法を習うことが増えてきたため自分の伝えたいことをきちんと伝えられることも多くなってきた。そして、学校の授業では文法のほかに会話やリスニングの授業があるのだが毎回テーマがあり、ショッピングや人に道を尋ねるときの聞き方や答え方など韓国で生活するために必要な韓国語を学ぶことができたため習ったことを実際に使う機会も多く確実に韓国語能力が上がったと思う。

ii) 異文化を理解すること

今回韓国で生活し、食事やマナー、生活環境などにおいて日本での生活と比べて正直戸惑ったこともあったが生活するうちにしだいに慣れていくことができた。韓国以外にも中国やタイなどさまざまな国の人からその国について聞いてたくさん国の文化やマナーを知ることができた。

6 反省・課題

四ヶ月という期間の中で非常に多くのことを学ぶことができ、有意義な留学となった。今回の留学したことによって自分の不足している部分を見つけることができた。これからの課題としては単語量を増やしていくことである。単語を知らないことによって伝えたいことを伝えられない場面が多かったためこれからは単語をしっかりと学習していきたい。今回のこの留学で学んだことを今回きりで終わりにしないためにも、これからも韓国語や韓国の文化についての勉強を粘り強く続けていきたい。さらに、今回この留学を通してたくさんの国の人とかかわり感じたのは異文化に対する理解を深め、様々な物事を世界的な視点から考えることを大切にしていきたいということである。

謝辞

今回、慶熙大学国際教育院にて私たちに懇切丁寧な指導をしてくださったキム・スンミン先生、イム・ジウン先生、パク・サンウン先生、キム・スルギ先生、そして学校生活だけでなく韓国での生活を助けてくださった川上洋子さん、その他大勢の関係者の皆様に深く感謝申し上げます。また、本学の派遣留学担当で本学での韓国語授業、留学前準備のサポート、帰国後の各種活動への指導を賜りました、伸銀珠先生、吉澤文寿先生には心より感謝いたします。最後に、新潟国際情報大学からいただきました奨学金により、本留学参加が実現し、有意義な体験ができたことを、心から感謝いたします。

付録：研修日誌

9月3日 土曜日 午前
出発 0930 新潟空港
担当 伸 銀珠 先生 キム スンミン先生
内容 ・ 伸 銀珠先生と共に新潟空港から仁川空港まで飛行機で移動 ・ 仁川空港にて出国審査 仁川空港にてキム スンミン先生と合流 ・ 仁川空港から寄宿舍までバスで移動 ・ 寄宿舍に入寮

移動の所感

新潟から韓国までは飛行機で約2時間で移動できるためとても短く感じた。しかし、空港について寄宿舍に移動する時には道が混んでおり着くまでに2時間ほどかかりとても疲れたが初めての韓国で初めて見る景色にとってもわくわくした。この元気を保ちながら、月曜日から始まる授業や様々な活動を頑張っていきたい。

9月8日 木曜日
現地学習 0840-1800
担当 国際教育院 引率の先生
研修内容 ・ 慶熙大学国際キャンパス見学 ・ 韓国民俗村 ・ 昼食 ・ 陶磁器製作

現地学習の内容

ソウルキャンパスにある平和の殿堂に集合し、そこからバスで移動。まず最初に行ったのは水原にある国際キャンパスである。国際キャンパス内をバスで回り韓国民俗村に行った。民俗村では韓国の昔の家屋をみたり昔の遊びを体験することができた。昼食に豚のカルビを食べ、韓国の伝統的な陶磁器（コップ、皿）を製作した。その後いつも学んでいるソウルキャンパスへ戻り解散した。

9月14日 水曜日
現地学習 0840-1840
クラス教員名 国際教育院 引率の先生
研修内容 ・国立博物館 ・昼食 ・「NANTA」観賞 ・Nソウルタワー

現地学習の具体的内容および所感

夏の短期プログラム2回目の現地学習では、主にソウル市内をまわった。朝、平和の殿堂に集合し、国立博物館にバスで移動した。国立博物館につまず、集合写真を撮影した。その後館内を2時間ほど見学し昼食となった。昼食後、ミュージカル「NANTA」を観賞した。観賞後、Nソウルタワーへ行きタワーに上った。1時間ほどの自由時間がありその後ソウルキャンパスへ戻り解散した。

11月6日~7日 1泊2日
秋学期 現地学習 6日 0840 - 7日 1730
インストラクター名 国際教育院 引率の先生
研修内容 6日 ・博物館 ・昼食 ・雪崖山 ・雪崖山博物館 ・夕食 ・レクリエーション 7日 ・朝食 ・海岸 ・韓屋見学 ・昼食

秋学期現地学習の内容および所感

秋学期の現地学習は1泊2日で行われた。朝、ソウルキャンパスを出発し雪崖山へ向

かった。その途中で博物館に寄り館内を見て回った。その後、昼食食べ雪崖山へ向かったがこの日は雨だったため予定が変更され山には登らずに少し歩いた。山に登ることができなかったため雪崖山の博物館に行った。その後、夕食を食べホテルに行きチェックインした。夜にはホテルの広間でレクリエーションがあり、様々なゲームをし留学生どうし親睦を深めることができた。

2日目はホテルで朝食を食べホテルの正面で集合写真を撮影した。この日は海を見に行きその後、韓屋の見学をした。そして昼食を食べソウルに戻った。

・夏の短期プログラム最終日クラスの人たちと撮った写真



・ダンスレッスン



・韓国での食事

